

歴史文化と観光連携

小林市長

本市は、ユネスコ無形文化遺産に登録された「結城紬」の製作技術のほか、平安・鎌倉時代にこの地を治めるようになった結城家の始祖・朝光公から福井に転封となった秀康公に至るまでの「結城家」を題材としたイベントなど、地域資源を活用した観光振興に取り組んでいます。

「結城秀康生誕450周年」となった令和6年度は、本市の結城蔵美館、福井市の福井市立郷土歴史博物館と福井県立歴史博物館の3館連携による特別展を開催することができました。私も福井市で開催された「越前百万石ものがたり～福井藩祖・結城秀康～」と「天下人の子・結城秀康と一族・家臣」の2つの特別展を拝見し、素晴らしい所蔵品の数々を堪能させていただきました。

今後、定期的にこうしたイベントを開催するとともに、超広域観光イベントとして同時開催することで、国内だけでなくインバウンドにもつなげていければと考えています。



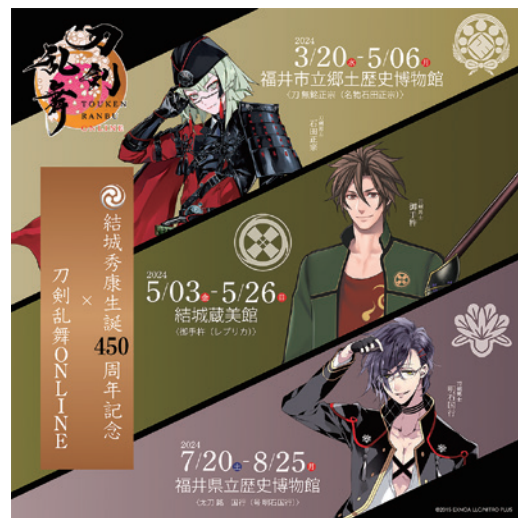
結城秀康生誕450周年記念として、結城蔵美館、福井市立郷土歴史博物館、福井県立歴史博物館の3館が連携して、秀康の特別展を開催。



西行市長

その節はありがとうございました。3～5月の福井市立郷土歴史博物館での特別展では「刀剣乱舞ONLINE」とコラボレーションを行い、18,000人以上に来場いただきました。これもひとえに結城市がこれまで企業と育んできた関係性の賜物であり、大いに感謝しています。

なお、現在、本市では「楽しい・安心・元気」という3つのキーワードをもとに地域活性化に取り組んでいます。「歴史・文化」だけでなく、「スポーツ」やあらゆる経済効果をもたらす分野と観光を結び付けると



©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS

ともに広報とプロモーションを一体化、さらには著名人とのタイアップを図るなど、情報発信を図っています。

また、本市最寄りの小松空港に直行便が乗り入れていることから、台湾でプロモーションを展開して誘客に取り組んでいるほか、欧米の方が多く閲覧しているという調査結果のあった、「japan-guide.com」と協定を結び情報発信を行っています。

今後、両市の持つ地域資源に加え、それぞれが構築しているつながりなども活用し、相乗効果を図ってまいりましょう。



名勝 養浩館庭園



足羽川桜並木

福井県 福井市

福井市は、福井県嶺北地方の中心に位置する県庁所在地・中核市で、豊かな自然や美味しい食など、魅力に溢れた街です。

戦国大名朝倉氏の城下町の史跡が残る「一乗谷朝倉氏遺跡」や、旧福井藩主松平家の別邸「名勝 養浩館庭園」などが見どころです。また、日本さくら名所100選に選ばれた足羽川・足羽山の桜が咲き誇る3月下旬～4月上旬には「ふくい桜まつり」や「ふくい桜マラソン」が開催され、県内外から多くの人々が訪れます。

令和6年3月の北陸新幹線の開業によって関東地方とのアクセスが向上し、福井の魅力への注目が益々高まっています。

災害に備えた協力体制

小林市長

本市は、平坦な地形であることから自然災害が比較的少ない地域であると感じています。

しかしながら、昨今における地球温暖化に起因すると思われる集中豪雨などによる内水被害に対し、県内でも事例が少ない「排水ポンプ車」を昨年導入いたしました。

平成23年3月の東日本大震災では度重なる地震動の影響で水道管が破損し、断水が続きました。給水車も小規模であることから市民への給水作業が難航していた際に、福井市の大型給水車がいち早く応援に駆けつけてくれ、当時、給水を担当した職員から今でも感謝しているという話を伺っております。その節は本当にありがとうございました。

災害応援については、遠距離であるが故に可能となる連携があると思います。今後、行政同士だけでなく、本市が連携協定を締結している企業と福井市との連携についても友好都市として働きかけていければと考えています。

西行市長

平成16年福井豪雨災害の経験は、結城市をはじめとする様々な機関との関係構築の重要性を改めて認識した機会となっており、令和6年元日の能登半島地震の際にも被災地の痛みを知る者として、いち早く職員や給水車などの派遣支援を指示しました。恐らく、平成23年の東日本大震災時においても同じ考えのもと早期に派遣支援を行ったものと考えま



結城市では内水被害に備えるため、排水ポンプ車を配備しました。災害時には友好都市や防災協定都市などに派遣します。



ふくい桜マラソン実行委員会 提供

ふくい桜マラソン

令和6年3月の北陸新幹線福井開業にあわせ、フルマラソン大会を初開催しました。

桜の名所や全国初となる新幹線と道路の併用橋「新九頭竜橋」を巡るコースを、国内外から15,000人のランナーが駆け抜けました。

す。地理的に離れていることを利点と捉え、遠距離ならではの相互応援が図れば良いと考えます。

結城市とは友好都市関係にありますが、「災害時における詳細な取り決め」なども行うことでより密接な関係が構築できるのではないかと考えています。

これからの福井市と結城市

小林市長

結城秀康公につないでいただいた両市の縁は、友好都市盟約につながり、締結から20余年が経過しましたが、以前から交流のある啓蒙地区の皆様をはじめとして、福井市を訪問する度に手厚いおもてなしをいた



令和4年10月、友好都市盟約締結20周年を記念して、市民訪問団が福井市を訪れました。左：福井城址、結城秀康公像の前にて 右：福井市啓蒙地区文化祭で囃子の演奏を披露



福井市給水車

災害発生時の応急給水対策として、給水車を2台(4トン・3トン)配備しています。

これまでに、結城市や陸前高田市(平成23年東日本大震災)をはじめ、熊本市(平成28年熊本地震)や輪島市(令和6年能登半島地震)などに給水隊を派遣し、応急給水による災害支援を実施しています。

だき、啓蒙公民館からは毎年「越前水仙」をご寄贈いただくなど、変わらぬご厚誼を大変うれしく感じております。

今後は、本日の議題にも挙がりました「教育・観光・防災」の3つの柱を軸とし、取り急ぎ、西行市長よりご提案いただきました「災害時における詳細な取り決め」を進めてまいります。

また、市民訪問団などの市民間のもとより、関係自治体や企業などを含めた交流の輪を広げることがさらなる連携強化につながるものと考えております。引き続き、よろしくお願いたします。

